

# BULK FORMING

日本塑性加工学会 鍛造分科会 ニュース No. 1 1989年5月

鍛造分科会事務局  
〒235 横浜市磯子区米取沢町150-4, 14-104 西山方  
TEL (045)774-6734 FAX (045)771-4709

## 鍛造分科会の新体制案

2月13日に開催された1988年度の運営委員会で4月からの1989年度の運営体制案が作成されました。分科会全体の運営ならびに各地区での行事を担当するため、運営委員会を分科会主査と庶務・会計、情報、国際の担当幹事ならびに、東・中・西日本の地区幹事（各地区3社＋非営利団体会員1名）で構成する体制が確立されました。工藤主査が主査を交代するほか運営委員が大幅に交代し、6月2日に開催される1989年度総会では以下のような運営委員が提案されます。

主査	小坂田宏造	（大阪大学）
庶務・会計	小野宗憲	（大同工業大学）
情報	済木弘行	（熊本大学）
国際	関口秀夫	（奈良高専）
監査	篠崎吉太郎	（機械技術研究所）
東日本地区	篠崎吉太郎	（機械技術研究所）
	島村三郎	（日産自動車）
	丸茂隆千	（群馬精工）
	三木武司	（新日本製鐵）
中部地区	阿部山尚三	（大同特殊鋼）
	近藤一義	（名古屋大学）
	高橋昭夫	（トヨタ自動車）
	竹口智男	（旭大隅産業）
西日本地区	安藤弘行	（小松製作所）
	馬場敦	（山中合金製作所）
	古沢貞良	（神戸製鋼所）
	和田林良一	（大阪府立産業総合研究所）
顧問	工藤英明	（東京電機大学）

運営委員は2年毎に約1/3が交代し、新陳代謝をはかっていくことになりました。今年度の分科会運営の目標として、研究班の体制を一新し活性化するとともに、情報公開をすすめ、文献の翻訳などの情報活動に力を入れることが挙げられています。分科会の運営に関してご意見がありましたら、事務局までお知らせ下さい。

## 10月に西安で第三回中日冷鍛シンポジウム

中国機械工程学会鍛圧学会の王焱山氏は第三回中日冷鍛シンポジウムを鍛造分科会と共催するように以下のように提案してきた。

場所 中国 西安 日時 1989年10月24日～11月2日

日程 10月24, 25 日本→西安  
26～28 会議  
29～31 見学  
11月1, 2 西安→日本

人数 日本側 20～25名 中国側 約50名

論文 中国、日本各15編（内各1編は展望） 論文4ページ

日本側は日本語本文と英文の概要、図表説明

受付 日本は鍛造分科会事務局

分科会では6月1日に運営委員会を開き審議する予定ですが、現在関口委員を通じて日程の短縮を打診している。参加希望の方は事務局までご連絡下さい。

## 第3回国際塑性加工会議（1990年）の申し込み多数

1990年7月に京都開催される第3回国際塑性加工会議（3rd ICTP）に4月末の段階で約380編の発表申し込みがあった。組織委員会（大矢根守哉委員長）は概要の審査を行っているが、第1回、2回の200件程度の発表に比べ大幅な増加になることは確実である。

## 鍛造関係行事予定（1989年4月から）

6月1日	分科会設置委員会	名古屋
6月2日	総会	名古屋
9月	ICFG総会	西独
10月	第3回中日冷鍛シンポジウム	中国西安
11月	実務講座	東京
1990年2月	研究集会	関西
9月	7th Int. Conf. Cold Forging	西独

## 分科会ニュースの原稿募集

鍛造関係の各種の情報をこの分科会ニュースでお伝えしたいと思います。国際会議、国内の会議、研究班のトピックスなどのほか、企業の新製品や新技術も紹介する予定です。事務局まで原稿をお寄せ下さい。